

【10 月 20 日はリサイクルの日】使用済み衣類を新たな資源へ
2026 年秋冬からほぼ全商品に衣類回収を促す専用タグを取り付け
～他社製品も回収、再利用率 99%の資源循環プロジェクト「WEAR SHiFT」をさらに推進～

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：遠藤 泰三）は、循環型社会の実現に向けたプロジェクト「WEAR SHiFT（ウェアシフト）」を加速させるため、2026 年秋冬商品より、お客様から使用済み衣類の回収を促す専用タグの取り付けを順次開始いたします。スーツからカジュアルアイテムまで、ほぼすべての商品を対象とし、ポケットの内側や裏地などに「着なくなった服は、捨てずに店舗の回収ボックスへ」というメッセージを込めたタグを取り付けています。10 月 20 日の「リサイクルの日」を機に、お客様と共に歩むエコ活動をさらに推進します。（<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000115161.html>）



現在、日本国内において家庭から排出される衣類の廃棄は年間約 46 万トン※1、大量廃棄による環境負荷がアパレル業界における大きな社会課題となっています。当社では、衣服の生産から廃棄にいたる環境配慮の活動として、使用済み衣類を回収し 99%再利用する資源循環の取り組み「WEAR SHiFT」を推進しています。この取り組みは、1998 年から始めた下取りサービスを進化させたもので、2023 年 10 月より全国の洋服の青山、SUIT SQUARE にリサイクリング BOX を設置し、お客様が気軽にエコ活動へ参加できる形としました。回収した衣類は、新たなスーツやコートに生まれ変わるほか、地域を守る防災毛布として再生し自治体に寄贈、回収量に応じた寄付を通して森林保全活動に取り組むなど、様々な形で社会に還元されます。

この資源循環の輪を回し続けるには、全ての起点となる「お客様に使用済みの衣類を店舗へお持ちいただく」という行動が不可欠です。そこで今回、資源循環を推進したいという思いを、役目を終えた衣類をお客様が手放すその瞬間にも伝えるべく、商品自体に WEAR SHiFT タグの取り付けをスタートしました。

新設されるタグは、衣服のデザインを損なわないよう、ポケットの内側や裏地などの目立たない場所に縫い付けられています。着用中はお客様に寄り添い、衣類の役目を終える際に「廃棄ではなく資源循環へ」という選択肢を提示します。また、使用済みの衣類は、「洋服の青山」および「SUIT SQUARE」の全店舗に設置されているリサイクリング BOX にて回収いたします。自社製品だけでなく他社製品も回収可能で、ご希望されるお客様には次回のお買い物でご利用いただけるクーポン券を発行し、サステナブルなアクションへの感謝を還元いたします。今後も環境課題の解決にとどまらず、持続可能な社会実現への貢献を推進してまいります。

※1 出展：環境省サステナブルファッションの推進に向けたアクションプラン(<https://www.env.go.jp/content/000386610.pdf>)



《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 宮本、生田
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 青山上野ビル 7F
TEL: 03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp



洋服の青山

SUIT SQUARE

■「WEAR SHiFT」タグの取り付け対象アイテム

【ビジネスアイテム】

スーツ、ジャケット、スラックス、スカート、コート、礼服、ベスト、ドレスシャツ、ブラウス、ネクタイなど

【カジュアルアイテム】

カジュアルシャツ、Tシャツ、トレーナー、ニットポロ、ニットベスト、セーター各種、ブルゾンなど

※シューズやベルトなどタグが縫い付けられないものは除く

(使用済み衣類の回収対象は、自社他社問わず上記アイテムに加え、シューズやベルトなども含みます。)



【ポケット内側に取付けたタグ（左:表面 右:裏面）】

■「WEAR SHiFT」プロジェクトの概要

「WEAR SHiFT」は全国のお客様が気軽に参加いただける資源循環の取り組みです。1998 年から始めた下取りサービスを進化させ、2023 年 10 月より全国 700 超の店舗にリサイクリング BOX を設置し、衣類回収を起点とした活動を行っています。①回収した衣類は資源として新たなスーツやコートに生まれ変わるほか、②地域を守る防災毛布として再生したり、③生物多様性の回復・保全を目指した森林保全活動にも結び付いています。

(<https://www.y-aoyama.jp/ec/shop/campaign/pg/1wear-shift/>)



※AIにて作成

① 回収した衣類（資源）を原料とした商品の開発、販売

全国の店舗で回収した使用済み衣類は、リユースできるものは古着として流通させるほか、高品質なリサイクル素材（ウールやポリエステル）へと紡績し直し、スーツやコートなどの新たな製品へと生まれ変わります。回収した衣類の再利用率は約 99%にのびります。

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000383.000115161.html>)

② 防災毛布の作製と自治体への寄贈

お客様より回収した使用済み衣類の一部を使用し、防災毛布を作製、2019 年からこれまでに計 12 自治体、総数 3,300 枚を寄贈しています。また、防災毛布の寄贈をきっかけに 9 自治体と包括、或いは防災に関する連携協定を締結し、その連携を深めています。

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000423.000115161.html>)



③ 「AOYAMA の森」での生物多様性の回復・保全

2022 年に当社・一般社団法人 more trees・高知県梼原町の 3 者が「森林保全に関する連携協定」を締結し『AOYAMA の森』を始動。使用済み衣類の回収量に応じた寄付（1kg=10 円）を実施し、高知県梼原町「AOYAMA の森」にて多様性のある森づくりを推進しています。植樹を通じて豊かな森林を育むことで、企業活動の基盤となる自然環境の保全に中長期的視点で取り組んでいます。

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000414.000115161.html>)

